



2月号
(第409号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部



「友」〜大切にしたいみんなの時間〜

高三主任 小澤 正豪

七十五回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。振り返れば三年前、コロナ禍の臨時休校からスタートした高校生活でした。授業はもちろん、さまざまな行事や活動の中止や延期、縮小が続いた三年間でもありましたが、皆さんの笑顔の多くがマスクで覆われていて、コミュニケーションを図る上でもそれぞれの表情の大切さを改めて気付かされました。もちろん、リモートで効率的にできることもたくさんあることについても学びましたが、皆さんのことを我慢して、その分たくさん工夫もしました。そのような高校生活で皆さんが大切にされたのが、それまで当たり前だと考えていた「みんなの時間」でした。時間だけは誰にでも平等で、そしてどんな偉い人や強い人でも待つてはくれません。制限された生活、制限された時間の中で、皆さんは「親友」と呼べる友に出会えましたか？

「大切な友情」を表現する言葉は、世界の各言語の中にもあります。韓国では「栗の友（パン・チンク）」といわれ、栗は表面にチクチク痛いイガがあり、その下に堅皮、そしてその下にもまだ渋皮があります。その下に初めて美味しい実を味わうことができます。悩んだり楽しんだり、一緒に悲しんだり喜んだり「時間」と一緒に過ごすことで友情を育んでいくことだと思えます。中国では「同学（トンシユエ）」といって、同郷の人や同級生を本当に大切にしている言葉があります。彼ら彼女たちにとって学校時代に一緒に「時間」を過ごした「トンシユエ」は社会に出てからもビジネスの世界でも大きなつながりを持つ、いつまでも大切な友だちです。日本語には「竹馬の友（ちくばのとも）」という言葉があります。「子どもの頃に一緒に竹馬をした友だち」という中国の故事が由来のようですが、よくよく竹馬をやってみると、竹馬は一本では立てない、二本あるから前に進むことも、時には後ろに歩くことや駆け足さえできる。大切な友だちがいるから、しっかりと前に進めるといふ深い意味が込められているのだと思います。

さあ、いよいよ旅立ちの時です。大切にしたい「みんなの時間」の中で育んだ友情を胸に、新しい日々に向かって卒業の時を迎えましょう。
「友」同じ空の下、どこかでいつもつながっている。

武庫川学院創立記念日 84周年を迎えて

昭和六（一九三二）年五月に欧米教育視察より戻られた校祖 公江喜市郎先生は、理想の女子教育を確立したいという理念を掲げて、武庫川学院の設立に励まれました。そして、昭和十四（一九三九）年二月二十五日に、文部省（現・文部科学省）から武庫川学院の設立と武庫川高等女子学校設置の認可を受

けました。以来、この日を「創立記念日」として今日に至ります。

一九六七年に出版された「風濤偕に和して」という本は、この浜甲子園キャンパスを建てられた時の「本校教育の特色」という項目があります。今回はその

内容を原文のまま紹介します。

一、教育の条件整備について

騒々しい雑音と溷濁した空気から遠く離れて、学校と住宅との群に囲まれた静かな土地。西には六甲の山なみを遙かに望み、東には武庫河畔の松籟を聞き、南にはちぬの広がる海原を間近に控えて、空気はまことに清澄、健康的で理想的な教育環境である。
(中略)

三、生活指導について

本学院は、学院長を中心に大学、高校、中学の職員、学生、生徒が家族のような暖かい雰囲気の中で、お互いに善意と愛情に硬く結ばれて、励まし合い助け合って、人間形成の道に動しんでいる学園である。「水澄み山静かにして風濤偕に和す」とは学院長の常に口にせられる言葉であるが、この学園にあるものの全てが、学院長を中心として、一体となった風濤偕の学風を指されたものと思う。

中学、高校は同じ校舎の中で、共に学び共に遊び、悲しみも喜びも共にする生活共同体である。而してこれを貫く指導体系はまことに風濤偕和の大和の精神である。この生活指導体系を具体的に示したものに「私たちの憲章」がある。(後略)

「私たちの憲章」は、「このころのあと」四頁にあります。創立八十四年を迎えた今、もう一度ゆつくりと「このころのあと」を読んでもみませんか。写真は昭和三十九（一九六四）年竣工時の第二学舎（現・浜甲子園キャンパス）です。



令和四年度 SSH卒業研究発表会

二月四日（土）に本校図書棟A V 1教室で、令和四年度SSH卒業研究発表会を行いました。高校三年創造サイエンスコースの生徒たちが発表しました。



十二月に成果発表会を終え、多くのフィードバックをいただいたことを元にして、多くのフィードバックを元にさらに研究を深めながら、英語によるプレゼンテーションの練習を積み重ねてきて、この日を迎えま

た。生徒同士の質問や、教員からの質問にも英語で答えようとする姿は、これまでの積み重ねを後輩に託すようにも見えました。

SSH公開講演会 海棲哺乳類のフィールド科学

二月四日（土）に武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂で、SSH公開講演会を開きました。今回は講師として京都大学野生動物研究センターの三谷曜子教授をお招きしました。



海棲哺乳類とは海に棲む哺乳類の総称で、イルカ、クジラ、アザラシ、アシカ、ラッコなどがいます。人間と同じ哺乳類でありながら、海の中を自由に動き回れる動物たち。彼らの行動や生態について調査する方法をご紹介いただき、これからもずっと共存できる海を守るための方法を考える時間をいただきました。また、海棲哺乳類と歴史や、海棲哺乳類と漁業のつながりについてのお話や、「女性×キャリア×研究」という観点で、ご自身の研究活動と出産・育児の時のご経験のお話、日本やその他の国における女性研究者の在り方についてお話もいただきました。

GEC発表会 The Greatest Pioneers!

二月十八日（土）に武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂で、GEC発表会を行いました。

GEC系クラスでは、日頃の教育活動のなかで、世界中の方々と対面やオンラインを通じて交流し、探究し、さまざまな形で発信をしてきました。そのようなGEC系一期生の今回の発表は、創造グローバルコースの先駆者として、自分たちが培ってきたことを後輩たちへのバトンとして繋いでくれました。

※GECとは高校二年・三年の創造グローバルコースの中にある Global English Communication 系のことを表します。



第七十五回 高等学校卒業証書授与式

日時 三月三日(金) 午前九時三十分開式
場所 武庫川女子大学中央キャンパス
公江記念講堂

女の子の健やかな成長を願うこの佳き日に、在校生・教職員一同、心から卒業生を祝福し、送り出します。

中学校全校読書会

二月二日(木) 七限目のLHRに中学校全校読書会を行いました。図書情報委員会を中心に、中学生全員が学年やクラスの枠を超えて、三十の会場に分かれ、図書委員が選んだそれぞれの本をもとに意見交換しました。



生徒たちは一冊の本にそれぞれが向き合い、そしてお互いの感想を共有することで、互いの意見を素直に尊重し合うことができました。

コーラス部 第十九回 音楽会

二月十二日(日)に武庫川女子大学公江記念講堂で、第十九回音楽会を開催しました。入場制限を行わなかったため、たくさんのお客さまや卒業生が、コーラス部の活躍を一目見ようと来場されました。



今年のコングレガトional曲や、中高合同ミュージカルとして「スカーレット・ピンパーネル」を披露し、皆さまをすてきな歌とダンスによるミュージカルの世界へお連れしました。また、作曲家である信長貴富氏にお越しいただき、これまで作曲していただいた作品を演奏することができました。

サイエンスフェアに参加しました

一月二十九日(日)にサイエンスフェアが開催されました。これは兵庫県内のSSH校を含む多数の高校が参加する会です。



創造サイエンスコースの二年生と三年生が、口頭発表や、ポスター発表で自身の研究を発表しました。また一年生も見学者として参加し、今後の研究に生かそうと目を輝かせていました。

三年ぶりの対面開催で、紙面共有やりもとの発表より、対面での発表の方が得るものが多かったように感じました。

ロボットアイデア甲子園全国大会へ出場!

一月二十八日(土)に大阪工業大学梅田キャンパスで、ロボットアイデア甲子園全国大会が行われました。全国二十一会場の地方大会を通過した二十五名が集まりました。



伊藤美柚さん(高一)が兵庫県代表として出場しました。ポスタープレゼンテーションによる一次審査に見事通過し、十名しか進出できない二次審査へ進むことができました。

短期交換留学が再開されます!

令和五年が始まり、本校の特色の一つでもある国際交流事業が再開されることになりました。

その初めとして、三月五日(日)〜二十五日(土)の三週間、二名の高校生をアメリカのチャールズ・ライト・アカデミー(CWA)校に短期交換留学生として派遣します。

CWA校と本校が平成十二(二〇〇〇)年に提携を結んでから二十三年が経ちました。コロナ禍でも、オンライン交流が続けてきましたが、いよいよ互いに生徒を派遣できる時がやってきました。六月には、研修団としてCWA校から十二名の生徒が本校を訪れます。校内でさまざまな交流のできる日を心待ちにしたいと思います。

宮城県の幼稚園におもちゃを贈るボランティア

東日本大震災が起こった一年前、何かできることはないかと考え、東日本へボランティアに行くことから始まったこの企画は、気がつけば恒例の交流イベントとなりました。



今年度は高校三年「家庭看護・福祉」を選択している生徒たちが授業の中でおもちゃを作り、宮城県の幼稚園に贈りました。そのお礼にお手紙と写真が送られてきました。

高校入試 2次募集

・出願期間

(窓口) 令和五年三月二十日(月)
(郵送) 令和五年三月二十日(月)
(二十二日(水) 十六時
二十二日(水) 必着

・入学検査日

令和五年三月二十三日(木) 九時集合
※詳細は、ホームページをご覧ください。または本校事務室、入試相談室まで。
TEL(代)〇七九八―四七―六四三六

☆様々な分野での活躍☆

- オーケストラ部
第50回兵庫県アンサンブルコンテスト 高砂市文化会館(1/14)
銀賞 高等学校の部
クラリネット四重奏
森 優歩(高2) 財満 陽菜(高2)
筑紫 凛(高1) 長谷川桃子(中3)
○柔道部
第64回近畿高等学校柔道新人大会 兵庫県立武道館(1/21)
第2位 女子個人戦 70kg級
長崎ひあり(高2)
○バトントワリング部
第19回兵庫県スポーツバトンコンテスト兼第76回兵庫県民スポーツ大会 宝塚市立スポーツセンター(1/29)
選手権の部
ソロトワール シニアA
※1位 小林 海音(高3)
6位 坂口 美瑛(高3)
トゥーバトン シニアA
※1位 坂口 美瑛(高3)
スリーバトン ジュニアII
※4位 岩崎 愛和(中3)
ソロストラット シニアA
2位 小林 海音(高3)
ダンストワール ジュニアII
4位 伊達 彩乃(中2)
6位 中野 光愛(中2)
ダンストワール シニアA
3位 中野 光愛(高2)

小林さんはソロトワール部門、坂口さんはトゥーバトン部門のなかで、最優秀選手として兵庫県スポーツ協会会長と兵庫県教育長より、表彰を受けました。

3月行事予定

Table with 3 columns: Date, Event Name, and Location/Notes. It lists various school activities from March 1st to 31st, including exams, assemblies, and sports events.